

奥多摩町内水面漁業振興計画

令和3年度～令和7年度

令和3年3月

奥多摩町

目 次

第1章 基本的な考え方	1
1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画期間	1
第2章 内水面漁業の現状・課題	2
1. 内水面漁業の全般的な現状と課題.....	2
2. 管理釣り場の現状と課題.....	3
3. 養殖・加工、販売の現状と課題.....	5
4. 遊漁の現状と課題.....	8
第3章 基本方針	10
第4章 施策の展開	12
1. 管理釣り場の魅力の向上.....	12
2. 養殖の推進	13
3. 遊漁の推進・生態系の保全.....	13
4. 川を通じた交流・人材育成.....	14
第5章 重点プログラム及び推進方針	15
1. 施設整備事業（ハード面）	16
2. ソフト面の取組み.....	18
3. 推進方針	22
資 料	23

第1章 基本的な考え方

1. 計画策定の趣旨

奥多摩町の内水面漁業は、遊漁（釣り）等の健全なレクリエーションの場の提供、中山間地域等の活性化に貢献しているほか、淡水魚類の供給を通じて、健康で豊かな食生活を実現するための重要な一翼を担っています。

平成27年度には、「内水面漁業の振興に関する法律（内水面漁業振興法）」の成立により、水産における内水面漁業の明確な位置づけがなされ、内水面漁業振興のための計画策定の必要性が高まってきました。

奥多摩町では、平成28年3月に「奥多摩町内水面漁業基本計画書」を策定し、東京都の内水面漁業振興対策事業の活用により管理釣り場、養殖施設の整備等を進めるとともに、奥多摩やまめ等の養殖、加工、流通等の対策、管理釣り場等の効果的PR対策などを進め、一定の成果を得ています。また、奥多摩町内水面漁業振興協議会を設立し、5つの管理釣り場、関係団体・機関と連携を開始し、課題への取組みを進めているところです。

現在、新型コロナウイルスの感染防止対策による移動自粛や度重なる風水害による施設被害もあり管理釣り場の入場者数が停滞するとともに、漁業協同組合の組合員の高齢化も影響し養殖業の伸び悩みといった状況にあります。

また、川釣りや川魚料理に親しむ機会も減ってきており、人々の川や内水面漁業との関わりが希薄化することが懸念される状況にあります。

今後、ポストコロナに向けた都市近郊の観光等への転換をはじめ、2021年の東京オリンピック・パラリンピック大会等に向けての対応、内水面漁業関連施設整備、内水面漁業の振興を通じた地域振興に取り組む効果的な事業を推進するために、5か年の「奥多摩町内水面漁業振興計画」（以下「本計画」という。）を策定しました。

2. 計画の位置づけ

本計画は、「奥多摩町第5期長期総合計画」を上位計画とし、観光ビジョン（おくたま観光スピリット21）が目指す「住民が楽しく暮らせるまち」の基本理念に基づき、関連する各個別計画との連携を図った計画として位置付けます。また、本計画は東京都の「水産振興プラン」と連携した計画です。

3. 計画期間

本計画は令和3年度～令和7年度の5か年とします。

第2章 内水面漁業の現状・課題

1. 内水面漁業の全般的な現状と課題

【現状】

- 奥多摩町では、奥多摩漁業協同組合、氷川漁業協同組合、小河内漁業協同組合が多摩川本流をはじめ各支流を管理し、アユ、ニジマス、ヤマメ、イワナなどの放流を行っています。
- 各漁業協同組合が管理している町内の河川に管理釣り場が5か所あり、営業をしています。
- 奥多摩やまめ・ヤマメ・イワナ・ニジマス等を養殖し、生産が行われており、町内の飲食店を中心に利用されています。特産の奥多摩やまめは冷凍フィレ（切り身）や燻製に加工し、販売拡大に努めています。
- 町内には、（公財）東京都農林水産振興財団（以下「奥多摩さかな養殖センター」という。）があり、養殖業の生産性向上や地域ブランド魚介類の養殖支援の研究などが行われています。
- 「奥多摩町内水面漁業基本計画書（平成28年3月）」に基づき、管理釣り場、養殖施設の整備、奥多摩やまめ等の養殖、加工、流通等の対策などを進めるとともに、奥多摩町内水面漁業振興協議会による、課題への取組みを進めています。

【「内水面振興対策事業」の事業実績】

年度	種別	事業内容	事業費 (千円)
平成28年度	施設整備事業	釣り場管理棟改良（設計・工事）	24,867
		養殖施設倉庫	2,724
		釣り場管理棟改良（工事） 駐車場改良（設計）	15,833
		釣り場畜養池改修（設計・工事）	11,425
		活魚運搬車	1,089
		釣り場インバウンド対応インフォメーションシステム	3,956
平成29年度	推進事業	パンフレット・ホームページ作成	2,135
	施設整備事業	養殖池給水バルブ（工事）	4,212
		釣り場管理棟建設（基本設計）	3,572
		釣り場養殖池改修（工事）	19,672
平成30年度	施設整備事業	釣り場管理棟建設（実施設計）	9,450
		養魚運搬車	6,210
		畜養池改修・倉庫新設（工事）	7,432
		釣り場取水施設改修（設計・工事）	19,764
令和元年度	施設整備事業	釣り場管理棟建設（工事）	145,871
		釣り場モノレール災害復旧（工事）	6,167
		釣り場導水管災害復旧（工事）	968

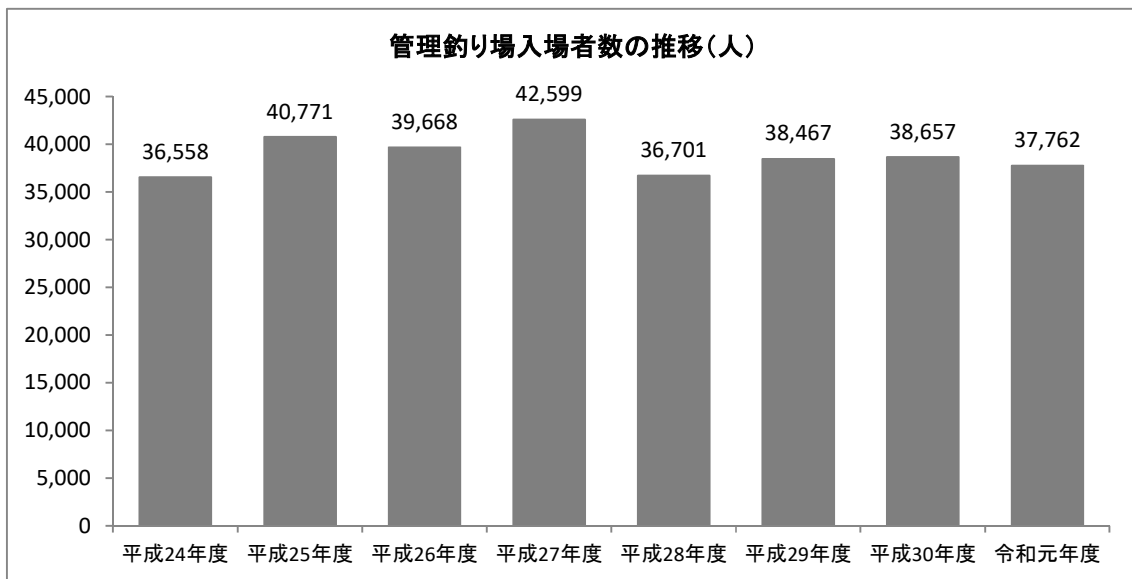
【課題】

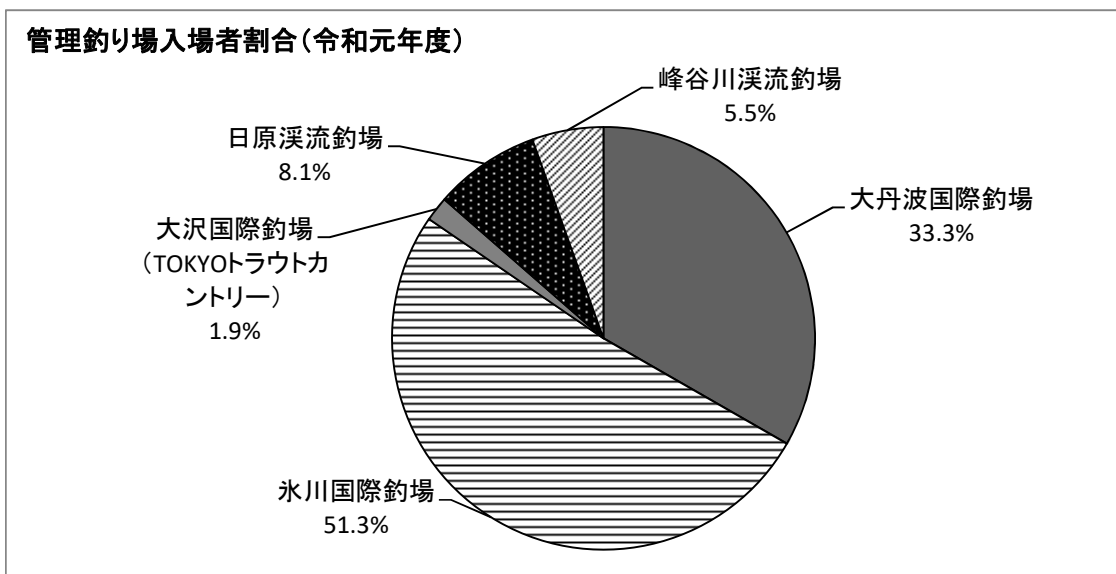
- 各河川の遊漁者数、管理釣り場の入場者数の減少が続き、各漁業協同組合及び管理釣り場の経営は、厳しい状況にあります。
- 集中豪雨などによる濁り水の発生、魚病により養殖魚が大量に死んでしまう事態の発生の懸念など、経営の安定化が課題となっています。養殖の基盤施設である養魚施設の老朽化が進み、大規模な改修を必要とする施設があり、整備が必要になっています。
- 従事者、組合員の高齢化が進行しており、推進体制を強めていく必要があります。

2. 管理釣り場の現状と課題

【現状】

- 町内の管理釣り場は多摩川水系の3つの支流（大丹波川、日原川、峰谷川）に5か所（大丹波国際釣場、氷川国際釣場、大沢国際釣場（TOKYOトラウトカントリー）、日原溪流釣場、峰谷川溪流釣場）あり、それぞれ特色ある環境、運営により、都内、近県から多くの人々が来訪しています。
- 町内5か所の管理釣り場の入場者数は、平成27年度の42,599人をピークに、平成28年度は36,701人に低下し、以降は38,000人前後で推移しています。
- 令和元年度の各管理釣り場の入場者数の割合は、氷川国際釣場（51.3%）が半数を占め、次いで大丹波国際釣場（33.3%）、日原溪流釣場（8.1%）、峰谷川溪流釣場（5.5%）、大沢国際釣場（TOKYOトラウトカントリー）（1.9%）が続きます。
- なお、令和2年度は新型コロナウイルスによる、町への来訪自粛要請もあり入場者数は大きく落ち込みました。また、日原溪流釣場は台風被害の影響により年間を通じ閉鎖状況となっていますが、復旧工事を行っており令和3年4月以降に営業再開を見込んでいます。





【各管理釣り場の利用料金等(令和2年度)】

管理釣り場名	利用料金	営業期間
大丹波国際釣場	1日券 3,300円(釣り放題)	通年
氷川国際釣場	餌釣り：1日券 3,300円(釣り放題) 半日券 1,700円(午後限定、5匹まで) ルアー：1日券 3,300円(10匹まで) 半日券 1,700円(午後限定、5匹まで)	通年
大沢国際釣場 (TOKYOトラウトカントリー)	溪流：1日券 3,300円(キャッチ&リリース) 半日券 2,200円(キャッチ&リリース) ファミリーポンド：貸し竿 300円、餌 300円	通年
日原溪流釣場	1日券 3,300円	3～11月末
峰谷川溪流釣場	1日券ヤマメ・イワナ 4,500円、ニジマス 3,000円 半日券ヤマメ・イワナ 3,000円、ニジマス 2,000円 (釣り放題)	3～11月末

- 入場者アンケート(令和2年度実施)では、各管理釣り場により差はありますが、概ね、優れた清流環境をはじめ、施設の充実度、釣果などは高い評価となっています。(詳細は資料編)
- 年齢は、各年齢に分散していますが、「50代」が24.4%と最も多く、次いで「40代」、「20代」、「30代」が続きます。なお、「20代以下」としては22.2%となります。また、「大丹波国際釣場」は各年代、平均的に来場していますが、「氷川国際釣場」は「20代以下」が40.0%を占め、「大沢国際釣場(TOKYOトラウトカントリー)」は「40代」、「峰谷川溪流釣場」は「50代」がそれぞれ最も多くなっています。
- 同行者は、「家族」、「グループ」がともに42.8%を占め、「個人(1人)」は10.0%となっていますが、「大丹波国際釣場」は「家族」が最も多く、「氷川国際釣場」は「グループ」、「大沢国際釣場(TOKYOトラウトカントリー)」は「個人(1人)」、「峰谷川溪流釣場」は「グループ」がそれぞれ最も多く、各釣り場により同行スタイルの

違いが際立っています。

- 釣場に関する情報の入手先としては、「HP」が 28.9%と最も多く、「友人・知人」(22.2%)、「SNS」(7.8%)などが目立ちます。なお、「リピーター」も 27.2%と多くなっています。

【課題】

- 管理釣り場の施設の老朽化やバリアフリー化などに対応する、計画的な施設整備、改修が必要です。
- また、アンケートで要望のあった釣り場のトイレの増設、夏場の日射対策などに対応していく必要があります。
- 入場者の拡大、新たな確保に向け、特色ある各管理釣り場の環境を活かした魅力化、効果的な PR やサービス内容の改善に向けた取り組みが必要です。
- 管理釣り場での各種教室の開催促進などで、溪流釣りを含めた釣りファンの確保・育成をはじめ、ポストコロナ時代における管理釣り場での遊び方の提案などに取り組む必要があります。
- 入場者の長期低迷傾向に対応し、新たな釣り客の増加に向け、特に、若者、女性等への PR や取り組みに努める必要があります。また、リピーターなどの SNS、口コミ等は大きな効果があり、満足度につなげることが重要です。
- 運営面では、例年、豪雨による釣り区画への土砂堆積などで閉鎖することも多く、復旧作業の効率化が必要です。

3. 養殖・加工、販売の現状と課題

【現状】

- 町内では、ニジマスやヤマメ、イワナ等の養殖が行われており、特に、平成 10 年に東京都水産試験場奥多摩分場（現：奥多摩さかな養殖センター）が開発した奥多摩やまめは、さまざまな活用方法が試行され、特産品としての定着化が進んでいます。
- 奥多摩町内生産者における奥多摩やまめの出荷先としては、氷川漁業協同組合は、町内、町外とも 12 件、牧野養魚場は、町内 5 件、町外 4 件、小河内漁業協同組合は町内 7 件、町外 2 件となっています。

【奥多摩町内生産者における奥多摩やまめ生産量（令和 2 年 7 月 9 日現在）】

生産者	生産量
氷川漁業協同組合	2.1t
牧野養魚場	1t

【奥多摩町内生産者における奥多摩やまめ出荷先一覧（令和3年2月現在）】

生産者	出荷形態		出荷先	
氷川漁協	鮮魚	塩焼き用 (小型魚)	炬ばた あかべこ（荒澤屋）	
			三河屋	
			もえぎの湯	
			丹三郎屋敷	
			鳩の巣釜飯	
			氷川サービスステーション	
			丸井亭	
			栃寄森の家	
			玉翠荘	
			ぼんぼこ亭	
		数馬の湯		
		いろは		
		萱草庵		
				奥多摩町
			埼玉県川越市	
		檜原村		
		青梅市		
		立川市		
	刺身用 (大型魚)	荒澤屋（炬ばた あかべこ）		
		三河屋		
		小河内漁協		
		井中居		
		燈々庵		
		おくとま路		
		粲（さん）		
		ミクニ マルノウチ		
	ルヴェソンヴェール東京			
	西洋フード			
	活魚	釣堀用	FISH UP 秋川湖（東京サマーランド）	あきる野市
牧野養魚場	鮮魚	塩焼き用 (小型魚)	もえぎの湯	
			カフェ クアラ	
			釣堀 CAFE 二見	
			釜めし なかい	
		笑美亭（わらびてい）		
		はとのす荘		
	刺身用 (大型魚)	ままごと屋		
手打ち蕎麦 ごろう				
ブリヂストン奥多摩園				
小河内漁協	燻製	鳩の巣釜飯		
		カタクリの花（水と緑のふれあい館）		
		みすず堂		
		氷川サービスステーション		
		むらき		
	冷凍フィレ	鳩の巣釜飯		
		やませみ（山のふるさと村）		
		古民家 山城		
押上 よしかつ				
		奥多摩町		
		奥多摩町		
		檜原村		
		墨田区		

資料：奥多摩さかな養殖センター

【課題】

- 漁業協同組合の養殖施設においては、老朽化が進んでいることに加え、毎年、台風等の大雨による濁水流入や断水等の被害も発生しており、計画的な施設改修が必要です。
- 奥多摩やまめの需要は拡大しており、養殖施設の拡大をはじめ、燻製施設の改修が必要です。また、ヤマメやイワナ等を含む新たな料理や加工品の開発及び販売と消費量の拡大を図り、漁業協同組合の経営の安定化に努める必要があります。

4. 遊漁の現状と課題

【現状】

- 奥多摩町の主な溪流としては、古里地区の大丹波川・入川・越沢、氷川地区の日原川・海沢川・多摩川、水根沢、小河内地区の峰谷川、岫沢川、小袖川などがあり、漁業協同組合による放流、遊漁券の販売、河川管理などを行っています。
- 各漁業協同組合の組合員は、長期的減少傾向にあるとともに、高齢化が進展しています。

【平成 30 年度の漁業協同組合の主な放流実績】

魚種	奥多摩漁業協同組合	小河内漁業協同組合
にじます	成 78,950 尾	成 5,000 尾
やまめ	稚 144,000 尾	稚 30,000 尾
	成 43,300 尾	成 2,000 尾
	卵 195,280 粒	卵 30,000 粒
いわな	稚 0 尾	稚 30,000 尾
	成 1,150 尾	成 2,000 尾
	卵 10,000 粒	卵 0 粒
うぐい産卵場	21 か所	2 か所

※奥多摩漁業協同組合には氷川漁業協同組合の放流分を含む。

資料：令和元年版「東京都の水産」

【奥多摩漁業協同組合の産地別、あゆ放流実績】

産地		あゆ放流実績
義務放流	栃木（人工産）	平成 29 年度：稚魚 98,890 尾、平成 30 年度：稚魚 160,000 尾
	愛知（人工産）	平成 29 年度：成魚 20,000 尾、平成 30 年度：成魚 19,960 尾
	琵琶湖産	平成 29 年度：成魚 90,000 尾、平成 30 年度：成魚 92,800 尾、稚魚 66,700 尾
多摩川天然遡上		平成 29 年度：稚魚 46,800 尾、平成 30 年度：稚魚 58,900 尾

資料：令和元年版「東京都の水産」

【放流場所】



【令和元年度の漁業協同組合員の概要】

組合名	組合員数			出資金額	設立
	正	準	合計		
奥多摩漁業協同組合	1,008	0	1,008	非出資	S25. 3. 10
小河内漁業協同組合	130	0	130	390 万円	S57. 11. 12
氷川漁業協同組合	325	98	423	701 万円	H7. 12. 28

資料：令和元年版「東京都の水産」

【内水面共同漁業権一覧】（平成 31 年 4 月 1 日現在）

免許番号	漁業権魚種	漁業権者
内共第 1 号	あゆ、にじます、やまめ、いわな、こい、ふな、うぐい	奥多摩漁業協同組合 氷川漁業協同組合
内共第 4 号	あゆ、にじます、やまめ、こい、ふな、うぐい	奥多摩漁業協同組合
内共第 9 号	にじます、やまめ、いわな、うぐい	小河内漁業協同組合
内共第 10 号	にじます、やまめ、いわな、うぐい	小河内漁業協同組合
内共第 15 号	やまめ、いわな	小河内漁業協同組合

資料：令和元年版「東京都の水産」

【課題】

- 漁業協同組合をはじめ、奥多摩町内水面漁業振興協議会や観光協会の活動を通じた遊漁者の増加対策が必要です。
- 活力ある漁協づくりとして経営体質の強化や担い手づくりが必要です。
- 漁業協同組合員確保に向け PR を進めるとともに、長期的な視野にたち、遊漁者などに協力してもらう仕組みづくりを検討していくことが望まれます。
- 多摩川水系の在来遺伝資源を守りつつ、イワナやヤマメ、アユ等の漁業資源を増大させ、遊漁者ニーズに応える釣り場づくりを検討していく必要があります。

第3章 基本方針

内水面漁業が有する水産物の供給機能、釣りなどの自然と親しむ機会の提供や生態系の保全などの多面的機能を十分に発揮し、伝統漁法や食文化などを未来に引き継いでいくためには、森・川・海のつながりを保ち、水産資源と多種多様な生き物が生息できる環境を守り育むことで、豊かな川づくりと活力ある内水面漁業の振興が求められています。

奥多摩町は、都心近くにありながら、美しい渓谷を有しており、釣りや川遊びなどで多くの人々が来訪しています。こうした川の環境を継承し、特色ある産業として持続可能な内水面漁業の振興により、観光等の経済活動に結び付けるなど、より魅力あるまちづくりへ取り組むことが必要です。

本計画においては、そうした奥多摩町の姿がイメージでき、分かりやすく内外に発信していくキャッチフレーズとして以下の「目指すべき将来像」を設定します。

<目指すべき将来像>

楽しみ・たたずむ溪流美 奥多摩～釣り、グルメ、山里の魅力～

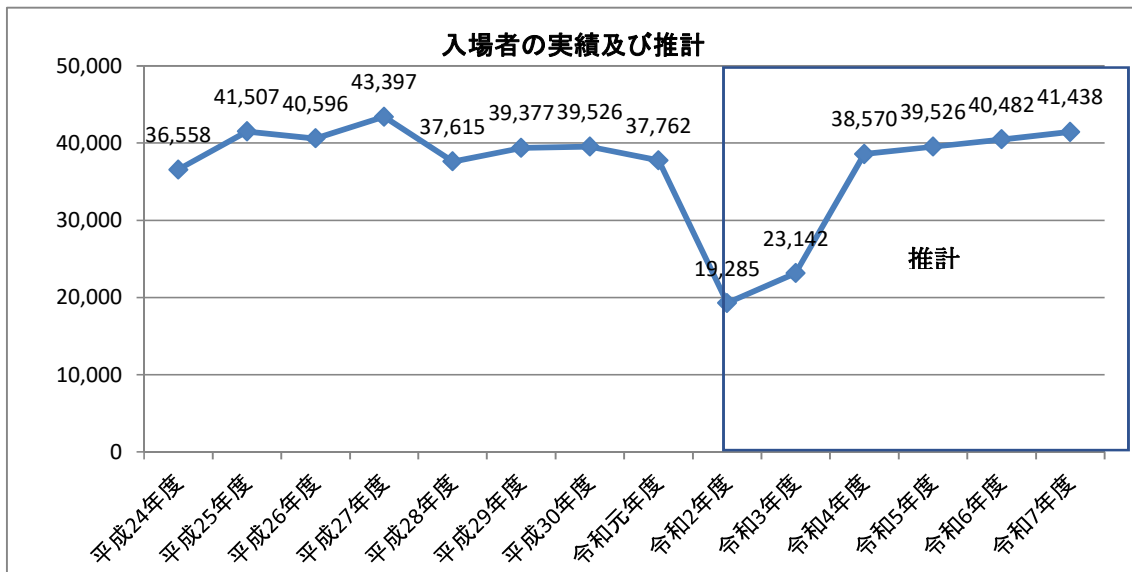
【目指すべき将来像の姿】

- 楽しみ・たたずむ溪流美 : 他にはない渓谷美の中で、人々が遊び、ゆっくりと過ごすことができる環境を大切にする
- 釣り、グルメ、山里の魅力 : 自然環境だけではなく、内水面漁業の振興を通し、みんなで創り育む文化や地域の魅力を発信・提供していく

<目標設定>

【管理釣り場入場者数】

- 町内5か所の管理釣り場の入場者数は、新型コロナウイルスの影響により令和2年度～3年度は平年（平成28年度～令和元年度の平均38,570人）の6割、7割程度の落ち込みを想定しますが、令和4年度には平年の入場者数へ回復し、以降、順次増加し、令和7年度には41,500人程度を見込みます。



※令和4年度には平年値に回復し、その後、一定の増加率で推移

第4章 施策の展開

目指すべき将来像「楽しみ・たたずむ溪流美 奥多摩～釣り、グルメ、山里の魅力～」の実現に向け、管理釣り場の魅力化、養殖の推進、遊漁の推進・生態系の保全、川を通じた交流・人材育成への取り組みを展開します。

これらの施策は、長中期的な観点から、奥多摩町内水面漁業振興協議会・関係機関等の協議・調整の上、段階的な検討・実施を図るものとします。

1. 管理釣り場の魅力の向上

管理釣り場の利用促進

- 奥多摩町内水面漁業振興協議会の活動を通し、観光情報の提供などと連携した入場者の増加対策に努め管理釣り場の利用促進を図ります。

施設の整備

- 町は各管理釣り場の施設のバリアフリー化、トイレ等の改修、付帯施設の整備（駐車場等）を推進するとともに、その場の特徴を活かす取り組みを進めます。
- 町は、管理釣り場の蓄養池等の改修や蓄養池の濁水・断水対応策（給気装置の導入、飼育水の循環利用等）を検討します。

サービスの魅力化

- 各管理釣り場は、それぞれのサービスの魅力化に向け、割引等の促進（半日券、家族割引、リピーター割引、関連施設との割引リンク）やアウトドアクッキングの提案など、より楽しめる釣り場づくりを促進します。
- 各管理釣り場は、新たな入場者の拡大に向け、教室や体験型イベントの開催をはじめ、町と協力しインバウンドや障害者等への対応やコロナへの対応など、時代に即した運営に取り組みます。
- 管理釣り場において、地場野菜のBBQ素材化や地場産養殖魚の加工品等の提供に努めます。
- 管理釣り場は、漁業協同組合や奥多摩さかな養殖センター等と協力し、地場産養殖魚の管理釣り場での放流魚利用に向けた取り組みに努めます。

情報提供の促進

- 町HP、各管理釣り場のHP・SNSなど各種情報システムの活用により、様々な観光客に対応したイベントや営業状況等の情報を発信します。

2. 養殖の推進

養殖施設の整備

- 町及び漁業協同組合は、資源の維持・増大を図るうえで必要となる施設の整備・拡充を促進します。また、老朽化が進んでいる施設については計画的に改修を進めるとともに、台風等に伴う濁りや断水に強い養殖施設（給気装置の導入、飼育水の循環利用等）の整備を検討します。

養殖魚の安定供給

- 漁業協同組合は、養殖技術の向上、養殖魚の効率的な生産と安定供給を図り、経営の安定化に努めます。また、需要が伸びている奥多摩やまめの増産に向けた体制づくりを検討します。

養殖魚消費量の拡大

- 漁業協同組合及び町は、奥多摩町内水面漁業振興協議会や関係団体等と協働し、奥多摩やまめ・イワナ等を活用した新たな料理や加工品の開発及び販売の拡大を図り、飲食店や旅館等との相互の連携を推進します。
- 町及び漁業協同組合は、川魚料理などの情報発信による魚食普及の推進、食育や観光等と効果的に連携する地産地消の仕組みづくりに取り組みます。
- 町及び漁業協同組合は、奥多摩さかな養殖センター等と協力し、地域特産品としての地位を確立している奥多摩やまめの付加価値やブランド力を更に高める取組みを推進します。
- 町及び漁業協同組合は、奥多摩さかな養殖センターの採精・採卵後のヤマメ廃魚などの低未利用資源の有効活用や商品化の取組みを検討します。

3. 遊漁の推進・生態系の保全

漁業協同組合の経営体質の強化

- 漁業協同組合及び町は、奥多摩町内水面漁業振興協議会や観光協会等の活動を通し、観光情報の提供などと連携した入漁者、遊漁者の増加対策を進めます。
- 漁業協同組合は、活力ある漁協づくりとして経営体質の強化や担い手づくり、遊漁の振興を図ります。

溪流釣りの促進

- 漁業協同組合は、管理釣り場等と協力し、新しい釣り人づくりに向け、溪流での子ども、女性向けの釣り体験イベント、釣り具レンタルなどの取り組みを検討します。
- 町は漁業協同組合と連携し、放流場所など入渓点における渓谷へのアプローチ道などの整備に努めます。
- 町は、漁業協同組合や管理釣り場等の情報提供を受け、インターネットによる溪流や釣りポイントの状況、ダム放流予告、防災情報などの情報発信を検討します。

溪流の漁場の管理

- 漁業協同組合は、巡回指導の強化や PR により、密漁の監視や遊漁者等に対し外来種を持ち込まない意識、釣りマナーの普及を図ります。
- 漁業協同組合は、東京都水産課と十分な調整により、天然資源を守りつつ、遊漁者ニーズに応える釣り場づくりとして、持ち帰り尾数の制限やキャッチ&リリース区の設定などのゾーニング管理手法の導入を研究します。
- 漁業協同組合は、多摩川流域の漁業協同組合と連携し、江戸前アユの汲み上げ放流や産卵床造成の促進により、天然アユの増殖に努めます。
- 漁業協同組合は、天然カジカの増殖、漁業権魚種に向けた取り組みを研究していきます。

河川生態系の保全

- 漁業協同組合は、外来魚やカワウによる食害防止を図るなど、川の環境を守り育みます。
- 漁業協同組合は、奥多摩さかな養殖センター等と協力し、健全で効果的な放流事業を展開するため、他県産種苗から地場産種苗への転換に努め、遺伝的多様性に配慮した地場産養殖魚を用いた種苗放流を促進します。また、重要魚種であるヤマメ及びイワナの資源を増大させるとともに、放流用種苗を生産・育成する町内飼育施設での魚病発生を予防することで安定した種苗放流を促進します。

4. 川を通じた交流・人材育成

地域に開かれた漁協づくり

- 漁業協同組合は、地域に開かれた運営と将来を担う組合員の確保を促進するため、稚魚の放流などの活動に地域住民や遊漁者などが協力・参加できる機会づくりを進めます。

川の学習の促進

- 奥多摩町内水面漁業振興協議会は、内水面漁業の多面的機能の発揮や人々の理解と関心を促進させることで、川の恵みを活かします。

人材育成の促進

- 漁業協同組合は、組合員確保に向け、地元小中学校等の教育支援や新規移住者、シニア、町内事業所などへの PR を進めます。

第5章 重点プログラム及び推進方針

＜重点プログラムの体系＞

施策	重点プログラム		ソフト面の取組み
	施設整備事業（ハード面）		
管理釣り場の魅力の向上	日原溪流釣場	日原溪流釣場養魚池改良工事	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的なプロモーション ・釣場のノベルティグッズの作成 ・地域と連携した販売品の確保 ・スクール、イベント企画等の整備
	大沢国際釣場	養魚池改良工事 バーベキューデッキ改修実施設計委託・改修工事	
	氷川国際釣場	施設改修実施設計委託・改良工事 第二駐車場取り付け道路改修・河川駐車場整備工事 マス池水漏れ修理・配管修理・カワウ対策屋根設置	
	大丹波国際釣場	落石防護柵（輪光院下）の設置工 第1駐車場舗装工事	
養殖の推進	峰谷川溪流釣場	奥多摩やまめ燻製施設改良実施設計委託、改良工事	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖魚の加工品・レシピ開発
	氷川漁業協同組合	栃寄養魚池上下池連絡配管改修工事	
遊漁の推進・生態系の保全	—		<ul style="list-style-type: none"> ・川を通じた交流・河川環境の保全等に向けての取組み
川を通じた交流・人材育成	—		

1. 施設整備事業(ハード面)

管理釣り場の入場者の満足度 UP 及び養殖・加工施設の生産性向上や生産量の拡大に向け、以下のような事業に取り組みます。特に、管理釣り場では、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、障害者やインバウンド対応に向け施設整備を実施します。

なお、これらの施設整備事業は、令和6年度までの東京都の内水面漁業振興対策事業として整理していますが、社会情勢等が変わってきた際の見直しなど、毎年度PDCAサイクルを繰り返して進めます。

◆令和3年度(合計事業費)1,970万円

団体名	件名	事業内容及び積算方法等
日原溪流釣り場 (日原保勝会)	・日原溪流釣り場養魚池改良工事 (金額) 600万円	養魚池土間コンクリート 32.5㎡ 地底面コンクリート工4箇所
大沢国際釣り場 (TOKYOトラウト カントリー)	・大沢国際釣り場養魚池改良工事 (金額) 1,000万円 ・大沢国際釣り場バーベキューデッキ 改修実施設計委託 (金額) 200万円	養魚池コンクリート打設工 82.5㎡ 実施設計委託 1式
氷川国際釣り場 (奥多摩総合開発 株)	・氷川国際釣り場施設改修実施設計 委託 (金額) 170万円	実施設計委託 1式

◆令和4年度(合計事業費)10,200万円

団体名	件名	事業内容及び積算方法等
大沢国際釣り場 (TOKYOトラウト カントリー)	・大沢国際釣り場バーベキューデッキ 改修工事 (金額) 2,000万円	未定
氷川国際釣り場 (奥多摩総合開発 株)	・氷川国際釣り場改良工事 (金額) 8,000万円	未定
峰谷川溪流釣り場 (一財)小河内振興財団)	・奥多摩やまめ燻製施設改良実施設計 委託 (金額) 200万円	未定

◆令和5年度(合計事業費)2,070万円

団体名	件名	事業内容及び積算方法等
峰谷川溪流釣場 (一財)小河内振興財団	・奥多摩やまめ燻製施設改良工事 (金額) 1,000万円	未定
氷川国際釣場 (奥多摩総合開発 (株))	・第二駐車場取り付け道路改修・河川駐車場整備工事 (金額) 720万円	坂道コンクリート舗装工他 既設コンクリート撤去工 40 m ² コンクリート舗装工 100m 駐車場整備工 1,170 m ²
氷川国際釣場 (奥多摩総合開発 (株))	・マス池水漏れ修理・配管修理・カワウ対策屋根設置 (金額) 350万円	マス池防水工 1箇所 左官工 1式 仕切レール 1式 屋根新設工 1式 配管補修工 1式

◆令和6年度(合計事業費)1,010万円

団体名	件名	事業内容及び積算方法等
大丹波国際釣場	・落石防護柵(輪光院下)の設置工 (金額) 650万円	落石防止設置工 30m
大丹波国際釣場	・第1駐車場舗装工事 (金額) 360万円	アスファルト塊掘削積込工 660.8 m ²
氷川漁業協同組合	・栃寄養魚池上下池連絡配管改修工事 (金額) 未定	未定

2. ソフト面の取組み

ソフト面の取組みは、奥多摩町内水面漁業振興協議会での更なる検討、事前調整を経て、順次、下記事業の選択、「準備」、「企画」、「実施」、「検証」・「見直し」のサイクルにより展開します。また、準備の段階で施策を実施することが難しいと判断した場合には再度、検討することとします。

なお、ソフト面については東京都の内水面漁業振興対策事業の活用及び町、関係団体等の自主的取組みも記載しています。

実施スケジュールについては、必要によって奥多摩町内水面漁業振興協議会策定部会を開催し、プログラム実施の優先順位をつけて取り組んでいきます。

(1) 管理釣り場の魅力化

①効果的なプロモーション

町は、各管理釣り場の環境・季節毎の雰囲気、楽しんでいる利用者の姿などの魅力について、各管理釣り場の動画を作成し、町の内水面 HP 等で PR していけるよう検討します。

	内 容
準備	各管理釣り場の環境、季節の魅力など素材調査
実施	釣り場施設・各管理釣り場でのスクール・イベント等撮影（PR 用、広告用）
展開	● 動画コンテンツのUP（各管理釣り場や観光協会でUPしたものを町の内水面 HP でもリンクする）

②釣場のノベルティグッズの作成

町は、管理釣り場での釣り対象魚種のぬいぐるみ等、愛着のわくノベルティグッズ等を制作し販売・配布します。

	内 容
準備	素材調査・試作の検討
実施	共同のノベルティグッズの作成・各管理釣り場等での販売

③地域と連携した販売品の確保

各管理釣り場において、観光協会と連携し、養殖魚加工品など地域の特産物の直売コーナーを設置し、お土産として販売をします。

	内 容
準備	地域との連携方法や販売スタイルの検討
実施	地域等との連携による出荷体制の整備・販売ディスプレイ仕器の作成

④スクール、イベント企画等の整備

管理釣り場での釣り教室やイベント、スクールのブラッシュアップを通し、連携したスタンプラリー企画等の開発、インバウンド対応、バリアフリー対応のイベント企画の開発など、利用者の拡大、満足感の拡充を図ります。

	内 容
準備	<ul style="list-style-type: none">● 各管理釣り場での教室・イベントの促進、特徴づけ● スタンプラリー企画の検討● イベント企画の検討● 地域との連携方法や販売スタイルの検討 (インバウンド対応、バリアフリー対応)● 小中学校の校外学習や自治会活動の受け入れの検討
実施	<ul style="list-style-type: none">● 各管理釣り場でのマス釣り教室、イワナ・ヤマメ餌釣り教室、ルアー教室、フライ教室、テンカラ教室、アウトドアクッキング企画● スタンプラリーの実施● イベントの実施 (インバウンド対応、バリアフリー対応)● 小中学校の校外学習や自治会活動の受け入れ推進

■各管理釣り場の魅力化のイメージ

管理釣り場	魅力化のイメージ
<p>大丹波国際釣場 若者・家族向け 親しみやすい溪流環境、整備された施設、良好なアクセスのPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ミツバツツジ祭り、夏休み親子釣り体験教室、紅葉まつりなどイベントの促進 ➤ 併設レストランメニューへの地場食材の導入促進、地場野菜販売、奥多摩産お土産の販売促進、地域交流拠点化 ➤ 周辺散策など里山の魅力の提示 ➤ スタッフブログの活用
<p>氷川国際釣場 若者・家族向け 駅から徒歩7分のV字谷、気軽にできる釣りのPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ V字谷でありながら広い河原を活かした遊び方（アウトドアクッキング、BBQ、デイキャンプなど）の提示 ➤ 奥多摩駅周辺施設、店舗等の連携による周辺散策の提示 ➤ もえぎの湯など関連施設との連携（相互割引、イベント情報提供など）
<p>大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー) フライ・テンカラ主体の釣り人向け 急流のダイナミックな環境、本格溪流釣り教室のPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ フライ、テンカラ、ルアー、毛ばり、キッズ教室の促進 ➤ ファンクラブ（部活）の設置、自然溪流釣りガイドの養成やガイドツアーの定期開催 ➤ 溪流・石灰岩巨石など地質条件（秩父帯付加コンプレックス：ジュラ紀）等を活かしたジオサイト化 ➤ 「メイフライ」メニューへの地場食材の導入促進 ➤ フリーWi-Fi設置、フェイスブックの活用
<p>日原溪流釣場 在来イワナが釣れる釣り場 上流域の変化にとんだ溪流を活かした遊び方のPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 場内養殖によるヤマメを放流できる環境の維持 ➤ 溪流アウトドアクッキング、BBQの促進、生き物観察の提示 ➤ フリーWi-Fi設置、フェイスブック等の開設
<p>峰谷川溪流釣場 在来ヤマメが釣れる釣り場 木陰の溪流でリラックスでき、専用区画を活かした楽しめる過ごし方のPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ヤマメ・イワナの放流促進 ➤ 釣りをしながらBBQ、水遊び、生き物観察の提示 ➤ じゃらん遊び体験など旅行会社ツアー客、山のふるさと村、森林セラピー等との連携促進 ➤ 地場野菜、燻製等の販売、地域交流拠点化 ➤ フリーWi-Fi設置、フェイスブック等の開設

(2) 養殖・遊漁・河川環境への対策（漁業協同組合など）

①養殖魚の加工品、レシピ開発

町及び漁業協同組合は関係者と協働し、奥多摩やまめ、ヤマメ、イワナ、ニジマス等の養殖魚の加工品開発、レシピ開発・提供により付加価値向上や魚食の普及に向けた取り組みを進めます。

なお、既に開発された奥多摩やまめのフィレ、燻製等の加工品は増産・販売促進に努めるとともに、レシピ普及に努めます。

	内 容
準備	<ul style="list-style-type: none"> ● 養殖魚の増産・安定供給・付加価値向上に向けた取り組みの検討 ● 新たな加工品生産体制（高齢者や女性等を担い手とする事業運営の検討）・施設等の整備の検討
実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京都農林水産総合サイト TOKYOGROWN 等での加工品等の PR の実施 ● 新たな加工品生産体制・施設等の整備（順次） ● 新たな加工品の商品化・生産、販売（順次）

②川を通じた交流、河川環境の保全等に向けての取り組み

溪流の魅力小提示し、魚を釣り、川で遊び、魚を食べることの楽しさを体感できる機会を拡充し、より多くの人々に来訪してもらい、遊漁券の販売増や養殖による漁協の経営基盤の安定につなげるとともに、川を通し、様々な形で地域と関わるファン層「関係人口」への働きかけも含め、内水面漁業の振興や河川環境の保全に向けた取り組みを進めていけるよう努めます。

また、溪流のまちとして、管理釣り場や溪流釣りの魅力化、魚食グルメ開発などを通し、観光協会等と連携し、気軽に親しめる奥多摩型ブルー・ツーリズムの確立をめざします。

	内 容
準備	<ul style="list-style-type: none"> ● JR 奥多摩駅前の定期的なテントショップイベントへの養殖魚塩焼き等での参加 ● 地域の子ども達への自然観察会や孵化場見学会などの企画の検討
実施	<ul style="list-style-type: none"> ● JR 奥多摩駅前の定期的なテントショップイベントへの養殖魚塩焼き等での参加実施 ● 地域の子ども達への自然観察会や孵化場見学会などの実施

※地域の子ども達への自然観察会の開催に際しては、漁業協同組合をはじめ、東京都と調整・協力し、東京都内水面漁業調整規則及び漁協の遊漁規則を遵守するよう留意します。

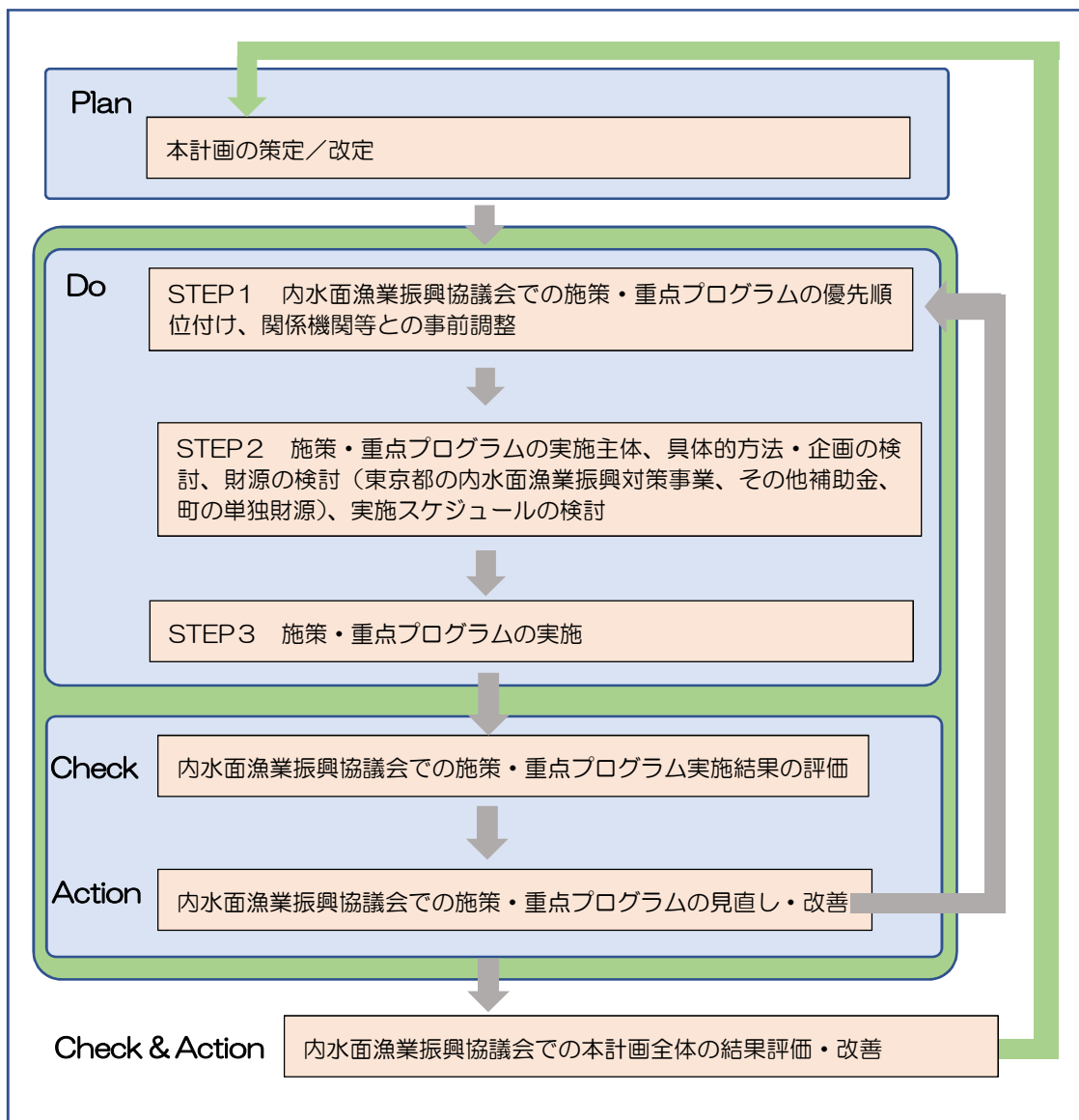
3. 推進方針

本計画を推進するために、町は協議会と連携し、計画的に施策・事業を展開するとともに、奥多摩町内水面漁業振興協議会の構成員である管理釣り場、漁業協同組合、観光協会等の主体的取り組みを促します。

また、奥多摩町内水面漁業振興協議会が設置する部会が中心となり、関係団体・機関等との連携強化を図ります。同協議会は、年に1回以上開催し、ハード面・ソフト面の施策・重点プログラムの進捗状況を確認し、必要によって同協議会策定部会での検討を加えます。

本計画の施策・重点プログラムを総合的・計画的に推進するため、次のとおりP D C Aサイクルを繰り返して進めます。

<基本的な進め方>



(1) 策定経過

年 月	内 容
令和元年 7月17日	奥多摩町内水面漁業振興協議会 (1) 次期計画策定について 部会を設置し、策定に向けて検討することで決定
令和元年 10月7日	令和元年度奥多摩町内水面漁業振興協議会計画策定部会（第1回会議） 内水面漁業振興計画の策定に伴い、計画策定方法について協議決定
令和2年 2月21日	奥多摩町内水面漁業振興協議会 (1) 次期計画策定について コンサルティング業務を委託し、部会で計画策定することを承認
令和2年 6月～	奥多摩町内水面漁業振興協議会計画策定部会（第1回会議） 内水面漁業振興計画の策定に伴い、コンサルティング業務の受託者の決定（紙面開催）
令和2年 8月～9月	関係者（奥多摩町内水面漁業振興協議会計画策定部会委員）へのヒアリングの実施
令和2年 8月～9月	管理釣り場来場者アンケートの実施 (聞き取り 153人、留置き 27人、計 180人)
令和2年 10月16日	奥多摩町内水面漁業振興協議会計画策定部会（第2回会議） (1) 部会長及び副部会長の選任 (2) 各釣場ニーズ調査結果について (3) 計画骨子について (4) その他
令和2年 12月25日	奥多摩町内水面漁業振興協議会計画策定部会（第3回会議） (1) ソフト面・ハード面事業予定表について (2) 意見・要望について (3) 今後のスケジュールについて (4) その他
令和3年 2月25日	奥多摩町内水面漁業振興協議会計画策定部会（第4回会議）（紙面開催） (1) 計画案について (2) その他
令和3年 3月24日	奥多摩町内水面漁業振興協議会 (1) 計画案について (2) その他

(2) 奥多摩町内水面漁業振興協議会 委員名簿

団体名	役職・氏名
◎氷川漁業協同組合	理事 塩野 廣行
小河内漁業協同組合	組合長 宮村 實
奥多摩漁業協同組合 第6区	理事 実森 章
奥多摩漁業協同組合 第7区	理事 村木 征一
○大丹波川国際虹鱒釣場運営委員会	委員長 加藤 健
TOKYOトラウトカントリー（大沢国際釣場）	代表 榎澤 弘
日原保勝会	会長 黒澤 庄悟
一般財団法人小河内振興財団	理事長 丹下 栄
一般社団法人奥多摩観光協会	会長 原島 俊二
奥多摩総合開発株式会社	部長 神尾 成俊
東京都産業労働局農林水産部水産課	課長 藤井 大地
東京都島しょ農林水産総合センター振興企画室	室長 長谷川 敦子
（公財）東京都農林水産振興財団 事業課	課長 平野 直彦

◎会長 ○副会長

(3) 奥多摩町内水面漁業振興協議会策定部会 委員名簿

団体名	役職・氏名
氷川漁業協同組合	理事 川久保 典彦
小河内漁業協同組合	組合長 宮村 實
奥多摩漁業協同組合	総代 小林 稔夫
大丹波川国際虹鱒釣場運営委員会	場長 須崎 冬樹
TOKYOトラウトカントリー（大沢国際釣場）	代表 榎澤 弘
日原保勝会（日原溪流釣場）	場長 黒澤 浩則
一般財団法人小河内振興財団（峰谷川溪流釣場）	事務局長 古矢 房男
◎一般社団法人奥多摩観光協会	事務局長 川久保 義彦
奥多摩総合開発株式会社（氷川国際ます釣場）	支配人 奥平 泰美
東京都産業労働局農林水産部水産課水産振興担当	課長代理 小島 修
東京都産業労働局農林水産部水産課漁業調整担当	主任 早川 浩一
東京都島しょ農林水産総合センター振興企画室	統括課長代理 城 智聡
○（公財）東京都農林水産振興財団奥多摩さかな養殖センター	センター長 中尾 忠司

◎部会長 ○副部会長

(4) 奥多摩町内水面漁業振興協議会設置要綱

平成 26 年 6 月 11 日

要綱第 24 号

(目的及び設置)

第 1 条 奥多摩町の内水面水産振興と観光振興及び地域の活性化を図るため、奥多摩町内水面漁業振興協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 協議会の所掌事項は、次に掲げるものとする。

- (1) 内水面生産施設の整備計画に関すること。
- (2) 特色のある内水面施設の構築に関すること。
- (3) 溪流魚の天然資源の保全と遊漁資源の増殖に関すること。
- (4) 溪流魚を利用した観光資源の開発に関すること。
- (5) 地域振興・観光産業の振興、水産振興に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、町長が必要と認めた事項

(組織)

第 3 条 協議会は、次の各号に掲げる者のうちから町長が委嘱する委員 20 名以内をもって組織する。

- (1) 内水面関係団体
- (2) 一般社団法人奥多摩観光協会
- (3) 観光関連施設
- (4) 奥多摩総合開発株式会社
- (5) 東京都各関係機関
- (6) 観光、水産又は地域振興に関する識見を有する者

(任期)

第 4 条 委員の任期は 3 年とし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第 5 条 協議会に、会長及び副会長各 1 名を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選とする。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 協議会は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 協議会は、委員の過半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 会長は、必要に応じて、関係者を協議会に出席させることができる。

(部会)

第7条 協議会が必要と認め事業の遂行と効果検証を実施するために、協議会に部会を設置することができる。

(報酬)

第8条 委員には、報酬は支給しない。ただし、協議会及び部会に出席した者に対しては、旅費として議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例(昭和31年条例第11号)に規定する旅費相当額を支給する。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、観光産業課において処理する。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営等に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、公布の日から施行する。
- 2 第3条の規定により委員が委嘱された後、最初に招集する協議会の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず町長が招集する。

附 則(平成27年6月26日要綱第18号)

この要綱は、公布の日から施行する。

(5) 奥多摩町管理釣り場利用者アンケート結果

<調査方法>

- 調査員による聞き取りアンケートを実施（8月末）
- 各管理釣り場で留め置きアンケートを実施。（8月末～9月第2週）
- 票数（合計180票）：聞き取り（153票）、留め置き（27票）

※グラフの注意点

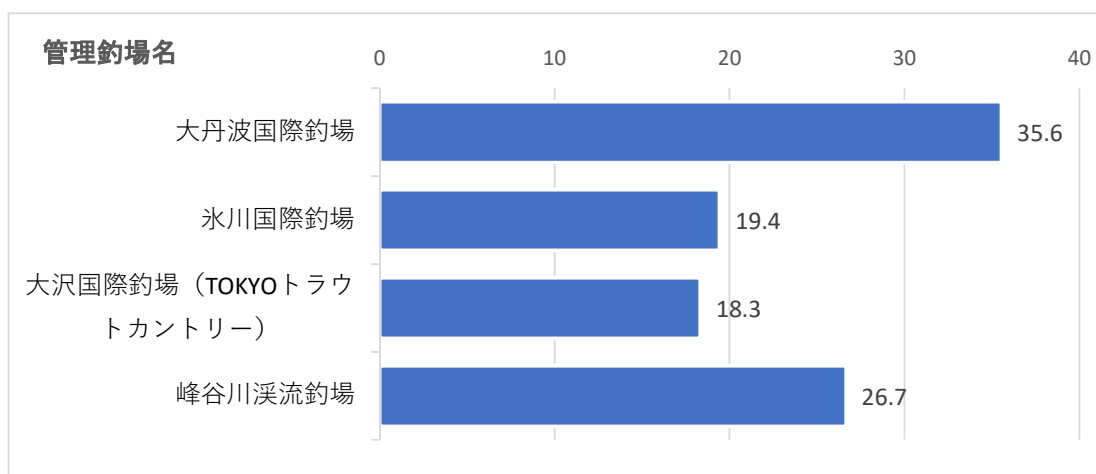
- ・ グラフタイトルの（SA）はシングルアンサー（単数回答）、（MA）はマルチアンサー（複数回答）の種別を表します
- ・ 割合（%）は、小数点1位で切り上げて表記していますので、合計しても100%にならないことがあります。

<調査結果>

1. 釣り場(SA)

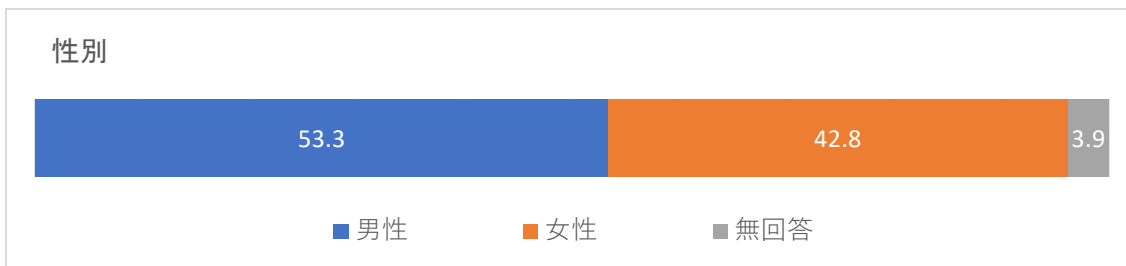
- 「大丹波国際釣り場」35.6%（64人）が最も多く、次いで「峰谷川溪流釣り場」26.7%（48人）、「氷川国際釣り場」19.4%（35人）、「大沢国際釣り場（TOKYOトラウトカントリー）」18.3%（33人）が続きます。

※「氷川国際釣り場」は調査期間中、2度の閉鎖がありました。



2. 性別(SA)

- 「男性」は53.3%、「女性」は42.8%と、「男性」が「女性」をやや上回ります。

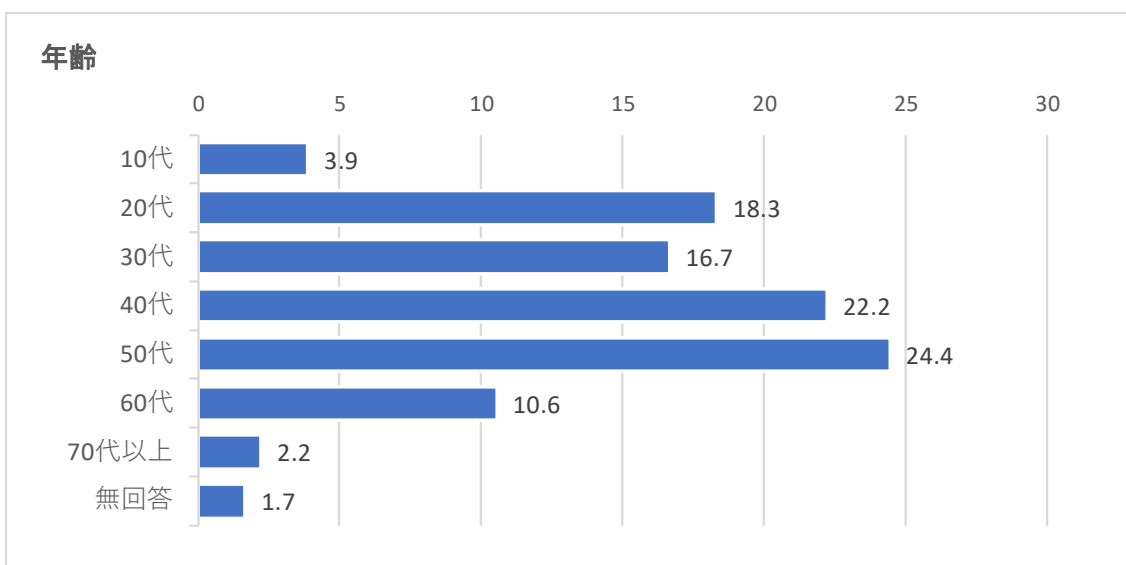


- 「大丹波国際釣場」、「氷川国際釣場」、「大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)」のいずれも「男性」が多く、なかでも「大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)」は「男性」が66.7%を占めます。
- 「峰谷川溪流釣場」は「女性」が「男性」を上回っています。

	合計	男性	女性	無回答
全体	180	53.3	42.8	3.9
大丹波国際釣場	64	51.6	40.6	7.8
氷川国際釣場	35	51.4	45.7	2.9
大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)	33	66.7	30.3	3.0
峰谷川溪流釣場	48	47.9	52.1	0.0

3. 年齢(SA)

- 年齢は、各年齢に分散していますが、「50代」が24.4%と最も多く、次いで「40代」、「20代」、「30代」が続きます。なお、「20代以下」としては22.2%となります。



- 「大丹波国際釣場」は概ね各年代同程度で来場していますが、「氷川国際釣場」は「20代以下」が40.0%を占め、「大沢国際釣場（TOKYOトラウトカントリー）」は「40代」、「峰谷川溪流釣場」は「50代」がそれぞれ最も多くなっています。

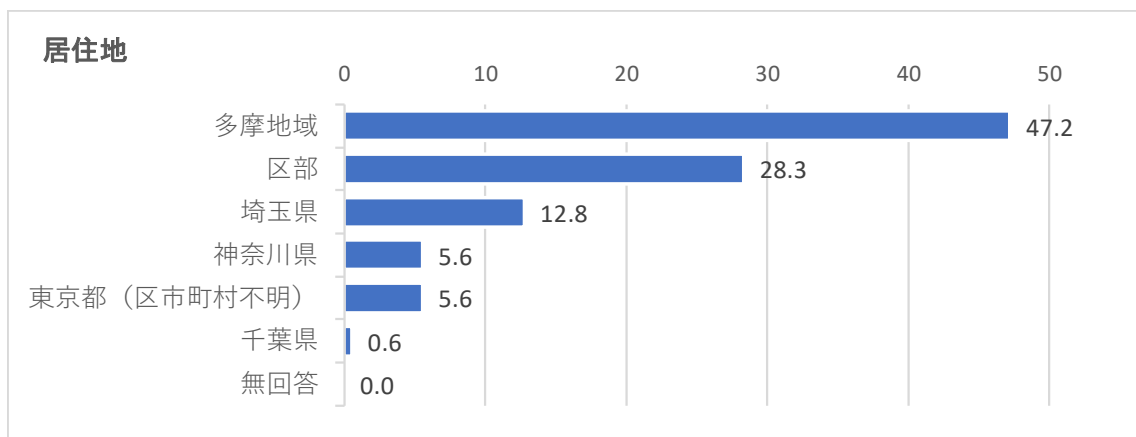
	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
全体	22.2	16.7	22.2	24.4	12.8
大丹波国際釣場	21.9	21.9	15.6	23.4	14.1
氷川国際釣場	40.0	17.1	17.1	14.3	8.6
大沢国際釣場（TOKYOトラウトカントリー）	18.2	6.1	33.3	18.2	24.2
峰谷川溪流釣場	12.5	16.7	27.1	37.5	6.3

※無回答を除く

4. 居住地(SA)

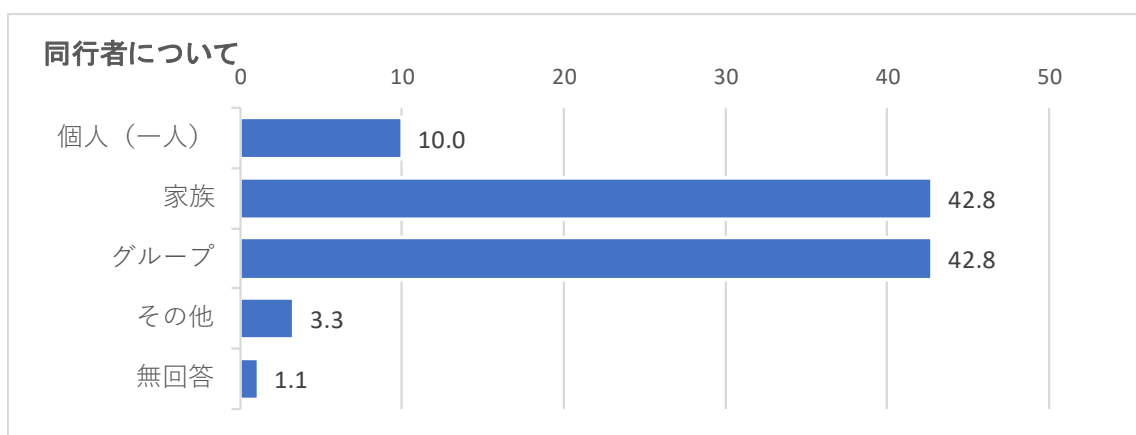
- 「多摩地域」が47.2%を占め、次いで「区部」、「埼玉県」が続きます。

※新型コロナウイルスにより他県からの東京都への来訪を制限中



5. 同行者スタイル(SA)

- 同行者は、「家族」、「グループ」がともに42.8%を占め、「個人（一人）」は10.0%となっています。

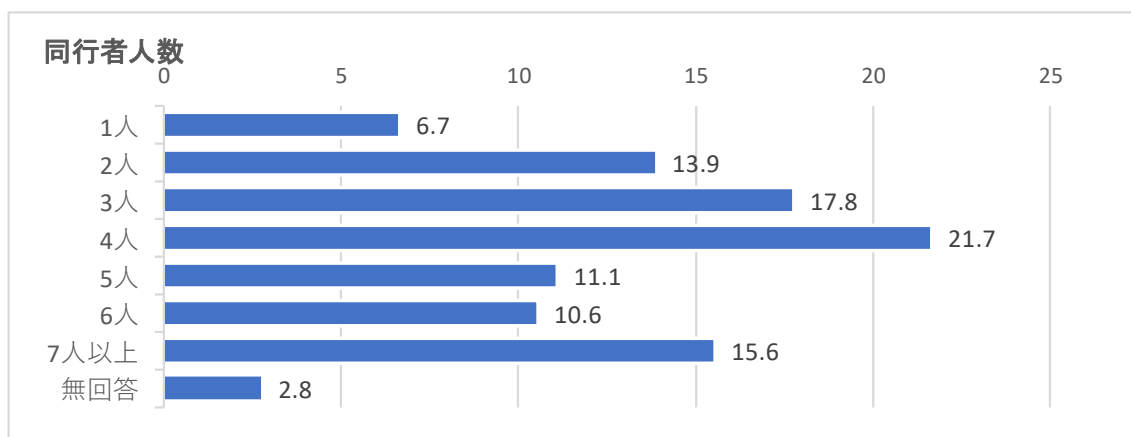


- 「大丹波国際釣場」は「家族」が最も多く、「氷川国際釣場」は「グループ」、「大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)」は「個人 (一人)」、「峰谷川溪流釣場」は「グループ」がそれぞれ最も多く、各釣場により同行スタイルの違いが際立っています。
- 年齢別には、「20 代以下」は「グループ」、「30 代」及び「40 代」は「家族」、「50 代」及び「60 代以上」は「グループ」が、それぞれ最も多く、世代による同行スタイルの違いがうかがわれます。

		合計	個人 (一人)	家族	グループ	その他
全体		180	10.0	42.8	42.8	3.3
釣 場 名	大丹波国際釣場	64	3.1	62.5	28.1	4.7
	氷川国際釣場	35	5.7	31.4	62.9	0.0
	大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)	33	39.4	24.2	27.3	9.1
	峰谷川溪流釣場	48	2.1	37.5	58.3	0.0
年 齢	20 代以下	40	0.0	25.0	70.0	2.5
	30 代	30	6.7	46.7	40.0	3.3
	40 代	40	12.5	70.0	17.5	0.0
	50 代	44	11.4	36.4	47.7	4.5
	60 代以上	23	26.1	26.1	39.1	8.7

6. 同行者人数 (SA)

- 同行者人数については、「4 人」が最も多く、次いで「3 人」、「7 人以上」、「2 人」が続きます。



- 「大丹波国際釣場」は「6 人」、「4 人」と続き、「氷川国際釣場」は「4 人」、「7 人以上」、「大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)」は「3 人」、「1 人」、「峰谷川溪流釣場」は「7 人以上」、「3 人」がそれぞれ上位となっており、同行スタイルによる同行者数の違いがうかがわれます。

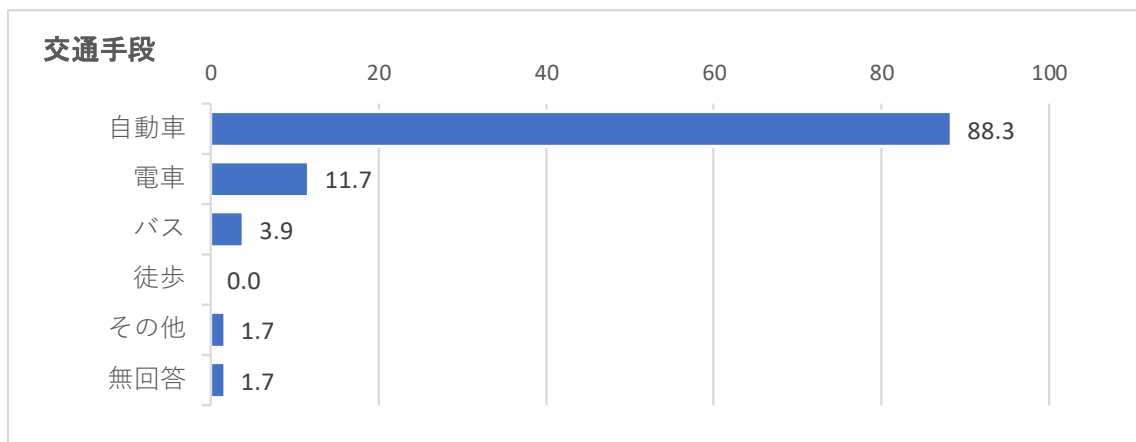
※ 「峰谷川溪流釣場」は旅行会社のツアー客が含まれます。

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
全体	6.7	13.9	17.8	21.7	11.1	10.6	15.6
大丹波国際釣場	3.1	12.5	15.6	18.8	12.5	23.4	14.1
氷川国際釣場	5.7	8.6	5.7	45.7	5.7	8.6	20.0
大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)	24.2	21.2	27.3	9.1	3.0	3.0	0.0
峰谷川溪流釣場	0.0	14.6	22.9	16.7	18.8	0.0	25.0

※無回答をのぞく

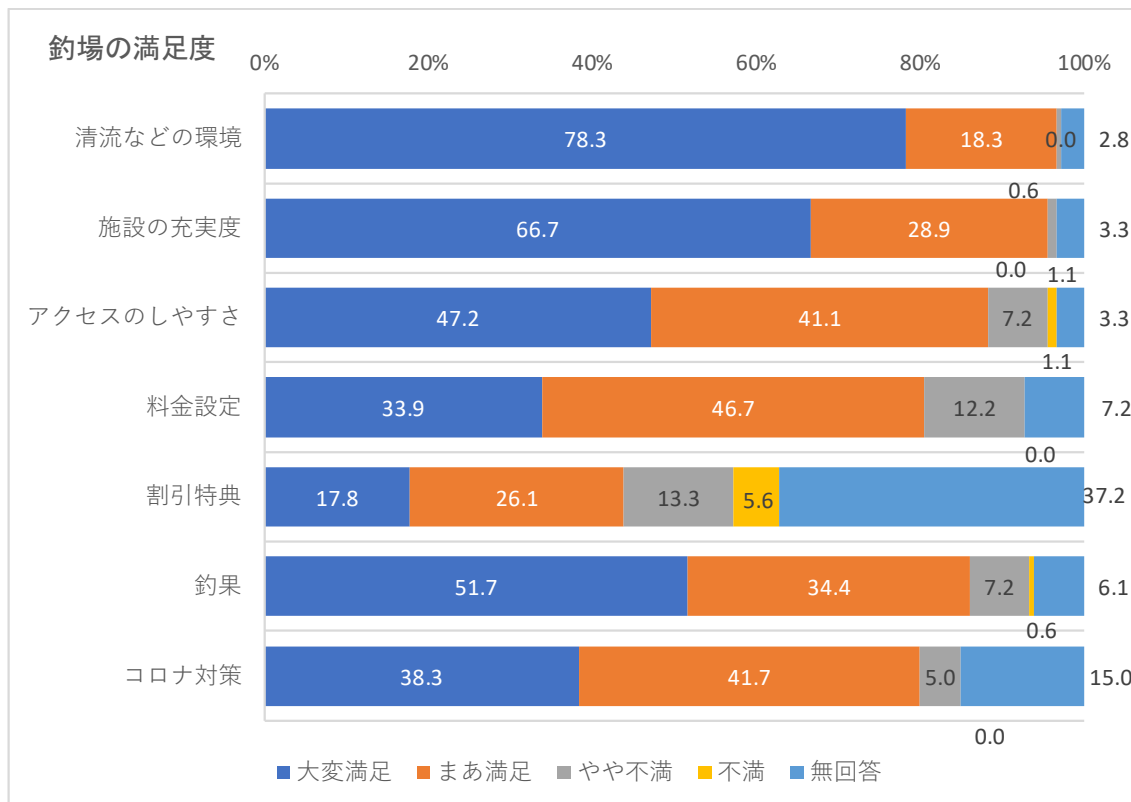
7. 交通手段(MA)

- 釣場への交通手段としては「自動車」が88.3%を占め最も多く、「電車」、「バス」が続きます。

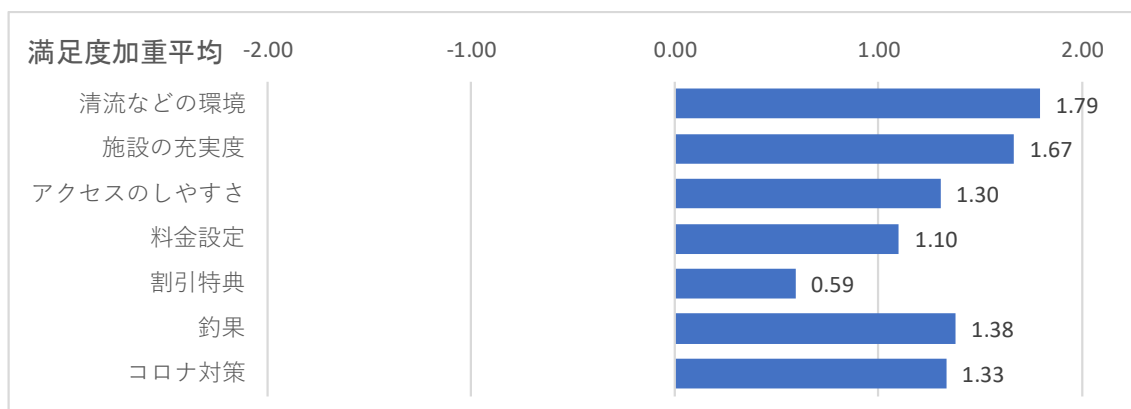


8. 満足度(SA)

- 釣場への満足度については、各項目とも満足と評価されています。“満足”（「大変満足」と「まあ満足」の合計）では、「清流などの環境」が96.6%と最も多く、次いで「施設の充実度」（95.6%）、「アクセスのしやすさ」（88.3%）、「釣果」（86.1%）、「料金設定」（80.6%）、「コロナ対策」（80.0%）と続きます。
- なお、「割引特典」は、無回答も多く“満足”は43.9%と他項目に比べ低くなっています。



- 加重平均からみると、「清流などの環境」が最も高く、次いで「施設の充実度」、「釣果」、「コロナ対策」、「アクセスのしやすさ」、「料金設定」、「割引特典」の順となります。



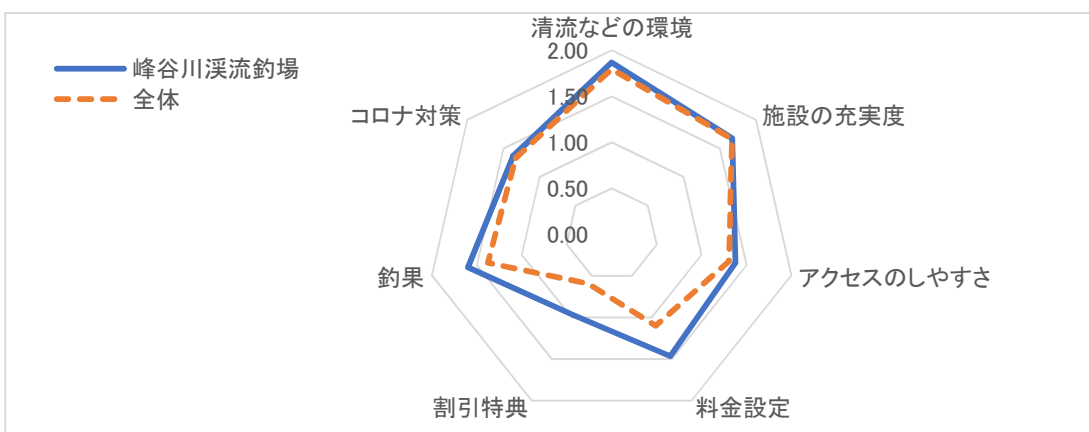
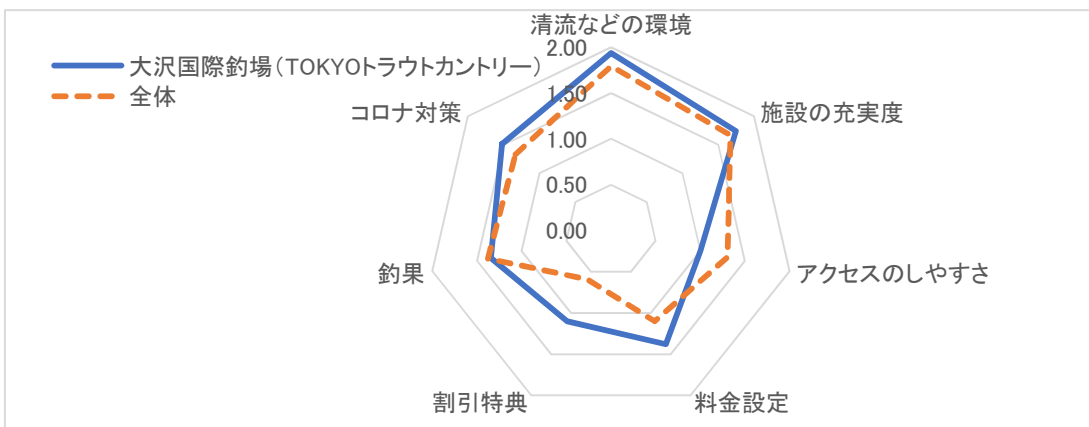
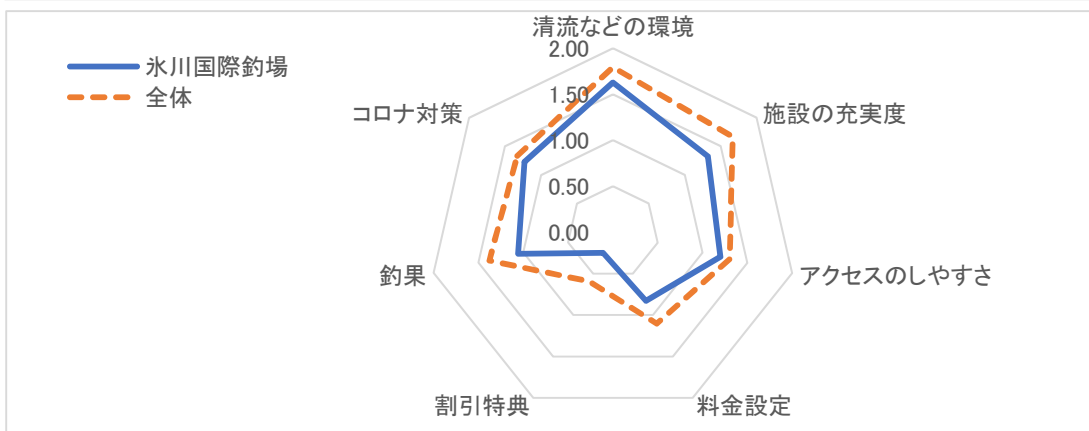
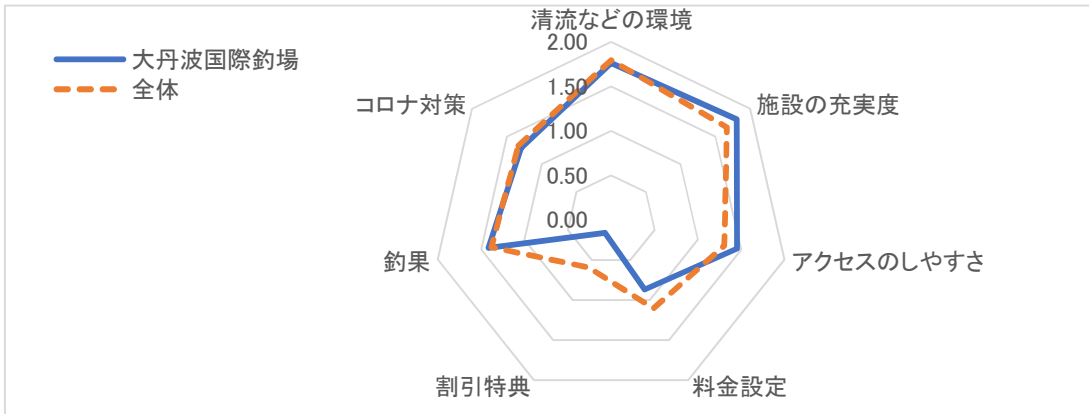
※加重平均：「大変満足」に2点、「やや満足」に1点、「やや不満」に-1点、「不満」に-2点を与え掲載したもの。最大+2点から、最低-2点に分布する。

【項目毎の満足度・加重平均】

		大変満足	まあ満足	やや不満	不満	無回答	加重平均
7-1 清流などの環境	全体	78.3	18.3	0.6	0.0	2.8	1.79
	大丹波国際釣場	78.1	18.8	1.6	0.0	1.6	1.76
	氷川国際釣場	62.9	37.1	0.0	0.0	0.0	1.63
	大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)	90.9	6.1	0.0	0.0	3.0	1.94
	峰谷川溪流釣場	81.3	12.5	0.0	0.0	6.3	1.87
7-2 施設の充実度	全体	66.7	28.9	1.1	0.0	3.3	1.67
	大丹波国際釣場	82.8	14.1	1.6	0.0	1.6	1.81
	氷川国際釣場	37.1	57.1	2.9	0.0	2.9	1.32
	大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)	69.7	24.2	0.0	0.0	6.1	1.74
	峰谷川溪流釣場	64.6	31.3	0.0	0.0	4.2	1.67
7-3 アクセスのしやすさ	全体	47.2	41.1	7.2	1.1	3.3	1.30
	大丹波国際釣場	56.3	39.1	3.1	1.6	0.0	1.45
	氷川国際釣場	31.4	62.9	5.7	0.0	0.0	1.20
	大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)	45.5	24.2	18.2	3.0	9.1	1.00
	峰谷川溪流釣場	47.9	39.6	6.3	0.0	6.3	1.38
7-4 料金設定	全体	33.9	46.7	12.2	0.0	7.2	1.10
	大丹波国際釣場	18.8	59.4	15.6	0.0	6.3	0.87
	氷川国際釣場	22.9	57.1	20.0	0.0	0.0	0.83
	大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)	51.5	27.3	9.1	0.0	12.1	1.38
	峰谷川溪流釣場	50.0	35.4	4.2	0.0	10.4	1.47
7-5 割引特典	全体	17.8	26.1	13.3	5.6	37.2	0.59
	大丹波国際釣場	7.8	20.3	12.5	7.8	51.6	0.16
	氷川国際釣場	8.6	42.9	17.1	11.4	20.0	0.25
	大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)	33.3	15.2	9.1	3.0	39.4	1.10
	峰谷川溪流釣場	27.1	29.2	14.6	0.0	29.2	0.97
7-6 釣果	全体	51.7	34.4	7.2	0.6	6.1	1.38
	大丹波国際釣場	50.0	43.8	4.7	0.0	1.6	1.41
	氷川国際釣場	37.1	48.6	11.4	2.9	0.0	1.06
	大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)	45.5	24.2	9.1	0.0	21.2	1.35
	峰谷川溪流釣場	68.8	18.8	6.3	0.0	6.3	1.60
7-7 コロナ対策	全体	38.3	41.7	5.0	0.0	15.0	1.33
	大丹波国際釣場	40.6	48.4	6.3	0.0	4.7	1.30
	氷川国際釣場	34.3	60.0	5.7	0.0	0.0	1.23
	大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)	48.5	30.3	3.0	0.0	18.2	1.52
	峰谷川溪流釣場	31.3	27.1	4.2	0.0	37.5	1.37

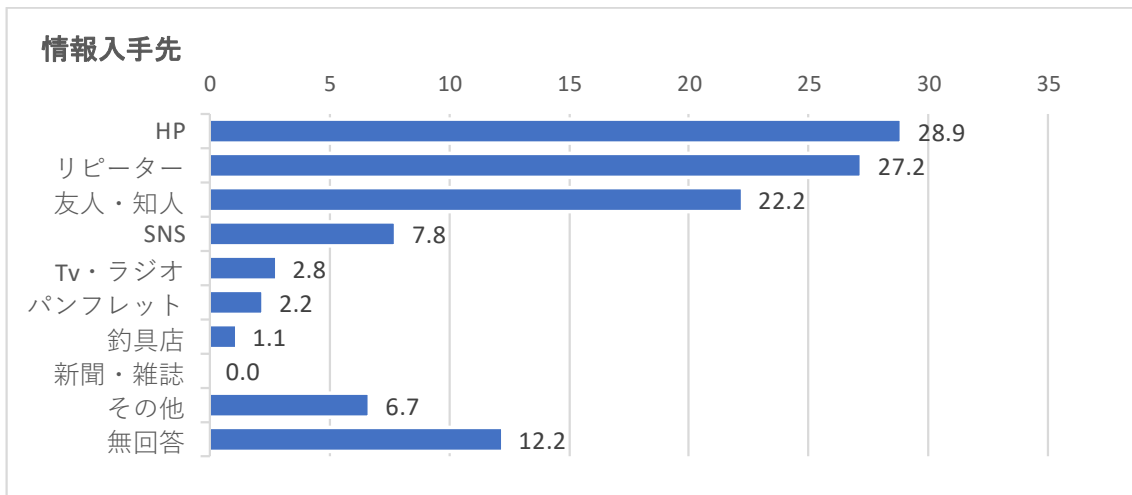
※網掛けセルは第1位

【釣場ごとの満足度評価】



9. 情報入手先(MA)

- 釣場に関する情報の入手先としては、「HP」が28.9%と最も多く、「友人・知人」(22.2%)、SNS(7.8%)などがめだちます。なお、「リピーター」も27.2%と多くなっています。

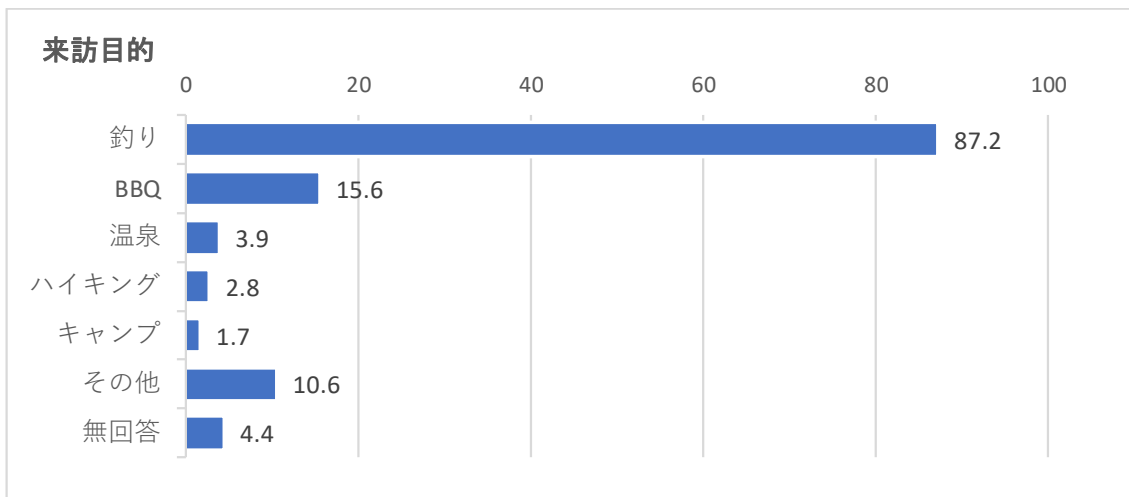


	HP	リピーター	友人・知人	SNS	Tv・ラジオ	パンフレット	釣具店
全体	28.9	27.2	22.2	7.8	2.8	2.2	1.1
大丹波国際釣場	28.1	35.9	21.9	3.1	4.7	1.6	0.0
氷川国際釣場	42.9	14.3	37.1	5.7	0.0	5.7	2.9
大沢国際釣場 (TOKYOトラウトカントリー)	24.2	18.2	30.3	9.1	3.0	3.0	3.0
峰谷川溪流釣場	22.9	31.3	6.3	14.6	2.1	0.0	0.0

※新聞、その他、無回答を除く

10. 来訪目的(MA)

- 奥多摩町への来訪目的については、「釣り」が87.2%とほとんどを占め、次いで「BBQ」が15.6%と続き、ほかはあまり見られません。



- いずれの釣場も「釣り」が最もおおくっていますが、「大丹波国際釣場」、「氷川国際釣場」、「峰谷川溪流釣場」は「BBQ」が、「大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)」は「その他」が続いています。なお、「大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)」の「その他」は食事がめだちます。

	釣り	BBQ	温泉	キャンプ	ハイキング	その他	無回答
全体	87.2	15.6	3.9	1.7	2.8	10.6	4.4
大丹波国際釣場	95.3	15.6	1.6	1.6	1.6	3.1	3.1
氷川国際釣場	85.7	31.4	11.4	5.7	2.9	11.4	0.0
大沢国際釣場 (TOKYO トラウトカントリー)	57.6	0.0	6.1	0.0	6.1	33.3	18.2
峰谷川溪流釣場	97.9	14.6	0.0	0.0	2.1	4.2	0.0

奥多摩町内水面漁業振興計画

発行日：令和3年3月

発行者：奥多摩町 観光産業課

住 所：〒198-0212

東京都西多摩郡奥多摩町氷川 215-6

TEL：0428（83）2111